



千葉大学ユニオンニュース 第85号 2014年1月15日

編集・発行：千葉大学ユニオン 事務局：西千葉キャンパス旧薬学部1号館316 メール：cuu@e-mail.jp

電話・FAX：043-290-2234 HP：http://www.age.cc/~cuu/ (過去のニュースもご覧になれます)

☆職場でお困りのこと、お気づきのこと、ご質問・ご意見をお寄せください。

センター試験の入試監督に関連する妥当な手当の支給を目指して — 大学法人との協議の報告 —

ここ数年、センター試験の入試監督に従事しても、大半の教員は機械的な勤務日振り替えで処理され、入試手当を支給されていません。センター試験の時期を迎え、ユニオンは12月25日(水)、この問題について集中的に大学法人側と協議を行いました。

かねてよりユニオンでは、センター試験の入試監督業務に対する待遇を問題視してきました。かつて(10年ほど前)は監督者に対し1日1万円程度の手当が支給されていましたが、近年、ほとんどの部局で手当は支給されなくなり、勤務日振り替えによる対応を求められています。しかしこの時期は入試、学内の期末試験と採点など、特に忙しい時期でもあるため、振り替えすら思うようにできない監督者もいます。加えて、丸2日かかる業務の重さや緊張を強いられる特殊な業務内容を考えれば、振り替え措置だけでなく入試手当を支給すべきとユニオンは考えています。

また、大学入試センターからは実施大学に対して一定額の「実施経費」が支払われていますが、その学内での使途・配分についても不明な点が多々あり、ユニオンは継続して使途の公開を要求してきました。2013年10月の法人側との懇談でも配分状況について説明を受けましたが、不明点は解消されていません。

法人側に要求すべき事項は多々ありますが、センター入試問題については実施日が迫っていたこともあり、ユニオンはまずこの問題について重点的に追求するため、11月21日(木)に大学法人に対し協議を申し入れました。協議は12月25日(水)に実施されました。

振り替え制の根拠は？

まずユニオン側より、本来は勤務日振り替えだけでなく入試手当を支払うべきであること、また振り替えを簡単にはできない監督者が多い実情を訴えました。

これに対し法人側は、健康管理のために休日を確保してもらうことを推奨しているのもあって、財源が無いから入試手当を支払わないわけではないと説明がありました。また協議のなかで、振り替えが可能な期間は試験日ははさんで1ヶ月であること、またどうしても振り替えができない場合は休日勤務手当の支給が可能であり、部局で適切に対処しているはずだとの見解を得ました。

ただしこの点については、部局によって運用方法にかなり違いが見られます。協議の後に振替期間の変更等に着手した部局もあり、一部に改善の傾向もみられますが、全学的には徹底されていません。今後、各部局の運用実態をチェックし、改善をはかるべきです。

入試センターからの実施経費の使途は？

10月に実施された懇談の席で公表された、大学入試センターからの実施経費配分状況をみると、千葉大学へは2,276万円(2013年度実績)の経費が配分されています。この配分額は入試センターが定めたフォーマットに基づき決定されています。どのように使うかは実施大学側の裁量に任されていますが、千葉大学の場合、人件費よりも物件費に多く使用されており(2013年度でセンター経費の61%)、その傾向は強まっています。また部局毎に配分状況が違うにもかかわらず、その詳細は未だ不明です。ユニオン側はかねてより部局単位の詳細な資料の公開を求めています。今回の協議でも法人側からの提示はありませんでした。しかし協議のなかで法人側も部局により配分状況が異なること、具体的には配分額が多い部局があることを認めました。

*2008~12年度の入試センターからの配分額とその人件費/物品費の内訳は、ユニオンニュース76号(2013年2月)に掲載されています(ユニオンHPよりアクセス可)。

ユニオンからの要求

意見交換をふまえ、協議の席上、ユニオンからは改めて以下の二点を要求し、大学法人側も今後検討する旨返答しました。

一点目は入試手当に関する規定の整備です。他大学の事例も紹介しながら、ぜひとも千葉大学でも整備すべきであると要求しました。

二点目は入試センターからの実施経費に関するより詳細な情報・資料の提供です。用途・配分の実態が不明なので具体的なデータを示してほしいと、入試課長も同席した協議の場で要求した結果、大学法人側も資料の準備・提供を約束しました。

他大学の状況

他大学でもセンター入試の監督者の処遇が問題になっています。

例えば新潟大学では2006年、多忙のため休日振り替えできなかった教員が新潟労働基準監督署に相談した結果、同労基署による立ち入り調査が実施され、超過勤務手当を支給する旨は正勧告が出されています。その後大学は他の教職員も調査し、振り替えできなかった職員の不払い分を支給するに至っています。

また京都大学・山形大学では、センター試験監督者・補助者に対する手当の支給を制度化しています。

今回の協議では、振り替え制を前提とした場合でも休日勤務手当が全く認められていないわけではないことや、センターからの実施経費の用途について部局間格差があることを確認できました。しかし入試手当の具体化に向けてはまだクリアすべき問題があるのも事実です。ユニオンでは今後も、入試手当の支給と入試センターからの実施経費の有効な使用を要求します。

千葉大学駅伝大会 今回も盛りあがる

学長杯争奪！第8回千葉大学駅伝大会が2013年10月14日（月・体育の日）に西千葉地区の構内周回コースで実施されました。例年運営スタッフで活躍してくれる陸上部が今年は別の大会があって不参加のため運営が心配されましたが、他の体育会メンバーの全面協力が得られ、6月初めの企画立案から当日の運営に至るまで無事実行することが出来ました。

大会当日は台風が迫っていましたがまだ天候の崩れはなく、学生や教職員の参加チーム数は昨年と同じく30チーム、西千葉地区はもとより亥鼻、松戸の各地区から参加した150名が健脚を競い合いました。結果は、学生チームが強く「卓球部」が初優勝で学長杯を、「アカペランナーズ」が2位で走友会会長杯を獲得。職員のチームとしては「千葉大整形外科」が3位でユニオン賞盾を授与されました。女子優勝チームは「保

健体育科女子チーム」で生協賞トロフィーが授与され、女子だけで編成された「でんでんむし」がブービー賞。空手部は今年も引継ぎ時に板割りパフォーマンスを見せて沿道を湧かせ、ユニオンも生協との合同で1チームが参加しました。なお、生協からは今年も参加賞・ブービー賞の賞品をご提供頂きました。

駅伝終了後に生協フードコート4で懇親会が開催されて60名程が参加。運営を手伝ってくれた体育会の学生達に一言話してもらったり、抽選による走友会からのお楽しみ景品があったりと、学生、教職員、地区や機関を超えての交流が活発に行われました。今後も学内の親睦を運営目標とし、更なる大会の発展・成長を期待します。

（駅伝実行委員会記）

活動記録（2013年6月～9月）

- 6月13日 第10回ユニオン総会
 - 6月18日 第1回執行委員会（引継など）
 - 6月19日 団体交渉の申し込み
（附属学校給与削減問題）
 - 6月21日 過半数代表者とユニオンに対する説明会
 - 6月25日 同問題について大学側と意見交換
 - 6月26日 大学側より同問題に対する説明会
 - 6月27日 第2回執行委員会（給与問題など）
 - 6月28日 附属学校教員の給与削減問題について
団体交渉
 - 6月28日 学長に執行委員交代の挨拶
 - 7月8日 技術職員問題の引継
 - 7月9日 新入教職員の歓迎会
 - 7月18日 第3回執行委員会
 - 7月19日 附属学校教員の給与引き下げに対する
抗議文を大学側に提出
 - 7月26日 ユニオンニュース81号発行
 - 8月13日 職員宿舍廃止問題についてユニオンへの
説明を要求
 - 8月20日 大学側に懇談の申し入れ
 - 8月22日 臨時執行委員会（宿舍廃止問題、教育
人事調整委員会など）
 - 8月28日 ユニオンニュース82号発行
 - 9月12日 ユニオン事務室移転
（総合校舎G号館から旧薬学部1号館へ）
- * 活動記録の掲載が遅れてしまいました点、おわび申し上げます。

加入申込書 電話・ファックス：043-290-234

千葉大学ユニオン委員長 栗田 禎子 様

千葉大学ユニオン規約を承認し、千葉大学ユニオンに加入いたします。 2014年 月 日

お名前：

ご所属：